

# 第13回 肺高血圧症治療研究会

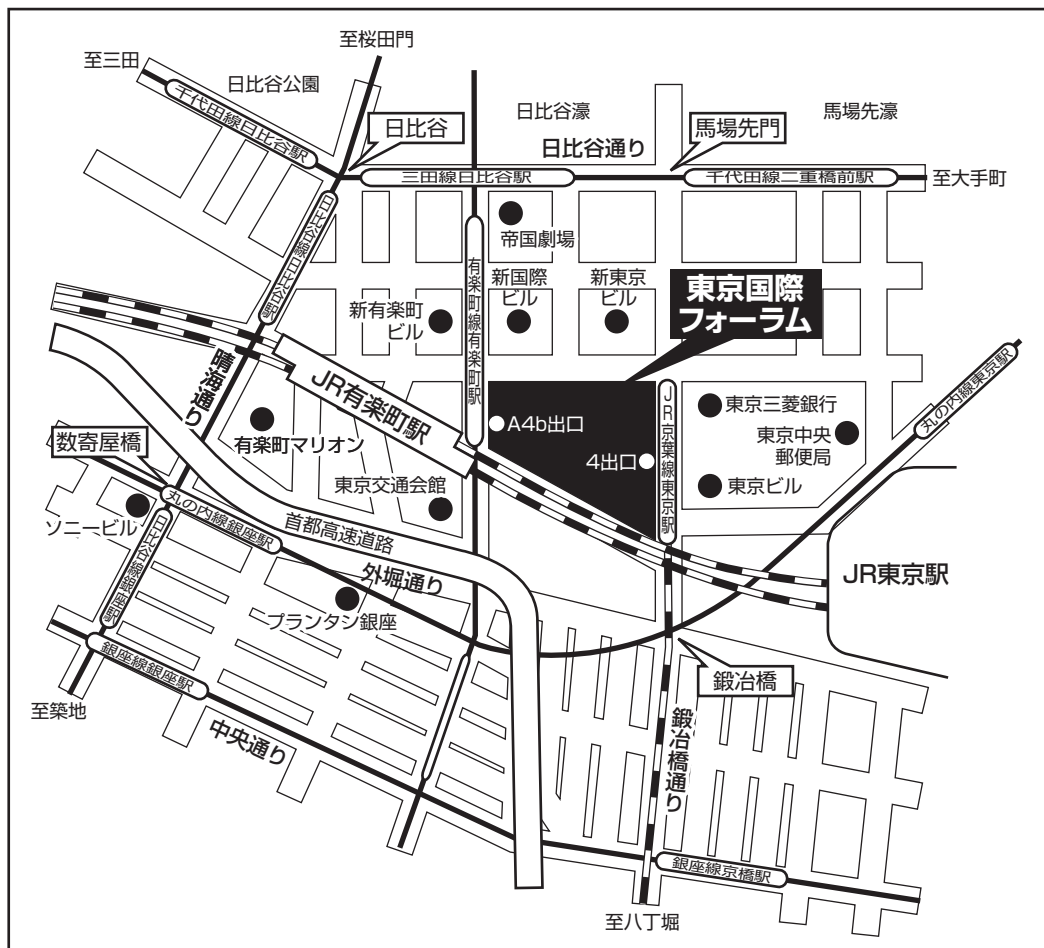
The Japanese Society of Pulmonary Hypertension Research

## プログラム

【日時】2012年6月2日(土) 13:00~19:00

【会場】東京国際フォーラム Dブロック5階「ホールD5」

東京都千代田区丸の内3-5-1 TEL 03-5221-9050



受付は12:30より会場前にて行います。受付にて参加費(医師・コメディカルの方は1,000円、メーカーの方は3,000円)をお支払いください。

### 発表者の方へ

一般演題発表の持ち時間は1題につき発表7分、質疑応答3分です。

要望演題は発表9分、質疑応答4分を用意しております。

シンポジウムは発表12分、総合討議20分を設けております。

共催：肺高血圧症治療研究会  
東レ株式会社

開会の辞 13:00-13:05

国枝武義(国際医療福祉大学臨床医学研究センター  
化学療法研究所附属病院循環器内科)

●一般演題(1演題発表7分、質疑応答3分)

Session 1 13:05-13:25

国枝武義(国際医療福祉大学臨床医学研究センター  
化学療法研究所附属病院循環器内科)

1. 13:05-13:15

「肺高血圧症における心エコー右室収縮能指標の正確性に関する検討」

佐藤隆博\*、辻野一三\*、大平洋\*、真鍋徳子\*\*、渡部拓\*、後藤知紗\*、西村正治\*  
(北海道大学病院第一内科\*、同 放射線診断科\*\*)

2. 13:15-13:25

「肺高血圧患者における全身バイオインピーダンス計測法を用いた非侵襲的評価法」

谷口悠、江本憲昭、絹谷洋人、中山和彦、平田健一(神戸大学医学部附属病院循環器内科)

Session 2 13:25-13:45

座長 片桐有一(飯田市立病院循環器内科)

3. 13:25-13:35

「手指の2D/4D比から示される肺動脈性肺高血圧症発症におけるアンドロゲンの保護的作用」

山本恒久、田村雄一、武井真、小野智彦、佐野元昭、福田恵一(慶應義塾大学医学部循環器内科)

4. 13:35-13:45

「肺動脈性肺高血圧症の診断におけるペントラキシン3の有用性」

小野智彦\*、田村雄一\*\*、桑名正隆\*\*\*、井上健司\*\*\*\*、武井真\*\*、山本恒久\*\*、片岡雅晴\*\*\*\*、木村謙介\*\*、  
佐野元昭\*\*、代田浩之\*\*\*\*\*、佐藤徹\*\*\*、福田恵一\*\*  
(慶應義塾大学医学部循環器内科\*、慶應義塾大学病院循環器内科\*\*、慶應義塾大学病院リウマチ膠原病内科\*\*\*、  
順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科\*\*\*\*、杏林大学病院循環器内科\*\*\*\*\*、順天堂大学医学部附属順天堂  
医院循環器内科\*\*\*\*\*)

Session 3 13:45-14:05

座長 深谷修作(藤田保健衛生大学医学部リウマチ・感染症内科)

5. 13:45-13:55

「当院での肺高血圧症患者における退院時の運動処方」

安藤可織\*、西崎真里\*、日浦雅則\*、松原広己\*\*  
(国立病院機構岡山医療センターリハビリテーション科\*、同 循環器科\*\*)

6. 13:55-14:05

「肺動脈性肺高血圧症(PAH)患者のQOLに影響を及ぼす因子に関する定量的検討」

小林直子\*、田村雄一\*\*、栗原裕美\*、佐藤理恵\*、相原由香\*、嘉山玲\*、小野智彦\*\*、村田輝乃\*、佐藤徹\*\*\*、福田恵一\*\*  
(慶應義塾大学病院7S病棟\*、慶應義塾大学医学部循環器内科\*\*、杏林大学第2内科\*\*\*)

Session 4 14:05-14:25

座長 田邊信宏(千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学)

7. 14:05-14:15

「Eisenmenger化したASD-PAHに対する“Treat-and-repair”アプローチの課題」

上野修市、桂田健一、山中祐子、横田克明、簗義仁、新保昌久、三橋武司、荻尾七臣  
(自治医科大学医学部内科学講座循環器内科部門)

8. 14:15-14:25

「クエン酸シルデナフィルの投与で肺高血圧の改善を認めた超高齢者の慢性血栓栓性肺高血圧症  
(CTEPH)の1例」

清水規隆\*、成宮一敏\*、石塚泰裕\*\*、芦田祐治\*\*、伊藤悠輔\*\*\*、駒崎淳\*\*\*、松本直素\*\*\*  
(たちばな台病院循環器内科\*、同 検査科\*\*、同 放射線科\*\*\*)

Session 5 14:25-14:45

座長 田中住明(北里大学医学部膠原病感染内科学)

9. 14:25-14:35

「結合組織病性肺動脈性肺高血圧症の剖検肺における病理組織学的検討

—特に肺静脈閉塞性病変合併の有無に関して—

大郷恵子\*、大郷剛\*\*、池田善彦\*、松山高明\*、橋村宏美\*、米本由美子\*、武藤清佳\*、高木弥栄美\*\*、  
中西宣文\*\*、植田初江\*  
(国立循環器病研究センター臨床検査部臨床病理科\*、同 心臓血管内科部門肺循環科\*\*)

10. 14:35-14:45

「PGI<sub>2</sub>持続静注療法に対する反応が良好な特発性肺動脈性肺高血圧症例の治療方針(第4報)」

福島裕之、石崎怜奈、小柳喬幸、前田潤、山岸敬幸(慶應義塾大学医学部小児科)

…………… 休 憩(約20分) ……………

Session 6 15:05-15:35

座長 本間覚(筑波大学大学院人間総合科学研究科循環器内科)

11. 15:05-15:15

「下大静脈欠損、奇静脈結合に肝外門脈閉塞症による門脈肺高血圧症を合併した一例」

林士元\*、須磨崎有希\*、角田義弥\*、田中徹\*、蛸井浩行\*、谷田貝洋平\*、関根朗雅\*、林原賢治\*、斎藤武文\*、梅津泰洋\*\*  
(国立病院機構茨城東病院呼吸器内科\*、同 心臓血管外科\*\*)

12. 15:15-15:25

「右左シャントを有する門脈性肺高血圧症の1例」

住谷充弘、津田学、宮本奈津子、吉田真也、西島正剛、少路誠一(大阪市立総合医療センター呼吸器内科)

13. 15:25-15:35

「遺伝性毛細血管拡張症に肺動脈性肺高血圧症・門脈圧亢進症を合併し治療に難渋した一例」

武井真\*、田村雄一\*、佐藤美奈子\*、井上博之\*、斉藤俊太郎\*、小野智彦\*、西村瑤子\*\*、木村謙介\*、佐野元昭\*、  
片岡雅晴\*\*\*、佐藤徹\*\*\*、福田恵一\*  
(慶應義塾大学医学部循環器内科\*、同 病理学教室\*\*、杏林大学第2内科\*\*\*)

Session 7 15:35-16:05

座長 永谷憲歳(ながや内科)

14. 15:35-15:45

「PGI<sub>2</sub>持続静注療法後、長期間観察し得ている門脈肺高血圧症の一例」

小笠寿之\*、平井理子\*\*、風林圭大\*\*、遠藤哲\*\*、南幸範\*\*、佐々木高明\*\*、澁川紀代子\*\*、山本泰司\*、長内忍\*\*\*、  
大崎能伸\*\*、長谷部直幸\*

(旭川医科大学内科学講座循環・呼吸・神経病態内科学分野\*、旭川医科大学病院呼吸器センター\*\*、旭川医科大学循環呼吸医療再生フロンティア講座\*\*\*)

15. 15:45-15:55

「肝移植10年後に肺動脈性肺高血圧症(PAH)を発症した先天性胆道閉鎖症例」

福島裕之、安田幹、石崎怜奈、小柳喬幸、前田潤、山岸敬幸  
(慶應義塾大学医学部小児科)

16. 15:55-16:05

「Epoprostenol持続静注療法を行うも、肝移植の適応にならなかった門脈肺高血圧(portpulmonary hypertension)症例の検討」

土井拓\*、平田拓也\*、鶴見文俊\*、平海良美\*、馬場志郎\*、上本伸二\*\*、平家俊男\*  
(京都大学小児科\*、同 肝胆臓移植外科\*\*)

●要望演題(1演題発表9分、質疑応答4分)

要望演題 「肝門脈疾患によるPAHの治療経験」 16:05-17:10

座長 佐藤徹(杏林大学医学部循環器内科)  
京谷晋吾(京谷医院)

1. 16:05-16:18

「ホスホジエステラーゼ5阻害薬およびエンドセリン拮抗薬による併用療法が奏功した門脈圧亢進症性肺高血圧の2例」

萩原義人、山田典一、松田明正、太田覚史、石倉健、中村真潮、伊藤正明  
(三重大学大学院循環器・腎臓内科学)

2. 16:18-16:31

「当院における門脈圧亢進を伴う肺動脈性肺高血圧症について」

竹内孝夫、坂尾誠一郎、田邊信宏、笠原靖紀、巽浩一郎  
(千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科)

3. 16:31-16:44

「当院の肝疾患による肺高血圧症」

菊池華子\*、田口浩樹\*、佐藤徹\*、片岡雅晴\*、柚須悟\*、松下健一\*、佐藤俊明\*、副島京子\*、坂田好美\*、  
吉野秀朗\*、田村雄一\*\*、福田恵一\*\*  
(杏林大学医学部循環器内科\*、慶應大学医学部循環器内科\*\*)

4. 16:44-16:57  
「門脈肺高血圧症に対する当院での治療経験」  
江尻健太郎、佃早央莉、更科俊洋、下川原裕人、小川愛子、西崎真里、松原広己  
(国立病院機構岡山医療センター循環器科)

5. 16:57-17:10  
「Epoprostenol投与下に生体部分肝移植を施行した門脈肺高血圧 (portpulmonary hypertension) 9症例のまとめ」  
土井拓\*、平田拓也\*、鶴見文俊\*、平海良美\*、馬場志郎\*、上本伸二\*\*、平家俊男\*  
(京都大学小児科\*、同 肝胆膵移植外科\*\*)

…………… 休 憩(約20分) ……………

●シンポジウム (1演題発表12分、総合討論20分)

**シンポジウム 「各種の肺高血圧症治療における診断のポイント」 17:30-18:30**

座長 松原広己(国立病院機構岡山医療センター循環器科)

岡野嘉明(阪和第二泉北病院内科/京都大学医学部附属病院肺高血圧症外来)

1. 17:30-17:42  
「遺伝子変異検査は特発性肺動脈性肺高血圧症の治療に影響を与えるか?」  
大郷剛\*、大郷恵子\*\*、中村一文\*\*\*、高木弥栄美\*、出町順\*、Richard Trembath\*\*\*\*、中西宣文\*  
(国立循環器病研究センター心臓血管内科肺部門循環科\*、同 病理部\*\*、岡山大学循環器内科\*\*\*、  
Department of Medical and Molecular Genetics, King's College London, UK\*\*\*\*)
2. 17:42-17:54  
「先天性心疾患に伴う肺高血圧の診断と治療の多様性」  
土井庄三郎\*、佐塚真帆\*\*、渡邊友博\*\*、石井卓\*\*、松浦優子\*\*、細川奨\*\*、西山光則\*\*  
(東京医科歯科大学大学院小児・周産期地域医療学\*、同 発生・発達病態学\*\*)
3. 17:54-18:06  
「左心系心疾患による肺高血圧症の診断ポイント」  
建部俊介、福本義弘、杉村宏一郎、佐藤公雄、三浦裕、後岡広太郎、青木竜男、山本沙織、下川宏明  
(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野)
4. 18:06-18:18  
「Pulmonary veno-occlusive diseaseとpulmonary capillary hemangiomatosisの診断のポイント」  
小川愛子、松原広己(国立病院機構岡山医療センター臨床研究部)
5. 18:18-18:30  
「肺高血圧疾患における診断のポイント」  
佐藤徹(杏林大学医学部循環器内科)

総合討議(20分) 18:30-18:50

閉会の辞 18:50-19:00

国枝武義(国際医療福祉大学臨床医学研究センター  
化学療法研究所附属病院循環器内科)

会社挨拶